

こ だつ の

い せき はっ くつ ちょう さ

小立野モトツルママチ遺跡 発掘調査

概 要

金沢美術工芸大学跡地再開発に伴い発掘調査を実施しています。調査区周辺は江戸時代には武家屋敷が広がり、近代以降には金沢監獄が設置されました。

発掘調査では金沢監獄時代の基礎や近代の井戸とみられる石積みなどが見つかり、レンガや瓦、近世陶磁器等が出土しています。

今後の調査の進展により、江戸時代以前の遺構の検出が期待されます。

場 所

金沢市小立野地内

調査期間

令和6年6月～令和7年3月

時 代

近世、近代



金沢監獄時代の基礎
(タンク跡か)



近代の井戸